

Prognostic impact of disseminated intravascular coagulation score in acute heart failure patients referred to a cardiac intensive care unit: a retrospective cohort study

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 猪谷, 亮介 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032095

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2979 号	氏 名	猪 谷 亮 介
審 査 委 員 会	主 査 教 授	新 浪 博	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>本研究 (CCU に入院した急性心不全患者における DICscore の予後への影響：後ろ向きコホート研究) は、CCU 収容に至る急性心不全症例において、入室時の DICscore は急性心不全症例のリスクに有用である可能性を示したものである。心不全では血栓形成が促進され、様々な凝固異常を示すが、その原因として、心機能低下、心拡大、心腔内圧や中心静脈圧の上昇、炎症、調律異常が挙げられ、したがって、血液凝固異常を示す症例は心不全がより重篤に至っているとの可能性があり、その結果 DICscore は急性心不全の予後規定因子となっていると合理的な考察をしている。通常臨床で頻用されている DICscore によって急性心不全の予後予測が施行できることは、臨床現場において有用であり、本研究の着目点の秀逸なところであると考えられた。以上より急性心不全に関する新たな有益な医学的知見を解明したもので、社会への貢献は顕著であり、学位授与に値する優秀な研究論文であると判断された。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			